

## 第 15 回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和 5 年 1 月 6 日 (金)  
開会 13 時 30 分 閉会 16 時 07 分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出 席 者
- |               |            |
|---------------|------------|
| 教育長           | 鍵本 芳明      |
| 委員 (教育長職務代理者) | 上地 玲子      |
| 委員 (教育長職務代理者) | 服部 俊也      |
| 委員            | 梶谷 俊介      |
| 委員            | 田野 美佐      |
| 教育次長          | 浮田 信太郎     |
| 教育次長          | 梅崎 聖       |
| 学校教育推進監       | 川上 慎治      |
| 教育政策課         | 課長 大西 治郎   |
|               | 総括主幹 石崎 貴史 |
| 財務課           | 課長 遠藤 圭一   |
| 教職員課          | 課長 鈴鹿 貴久   |
| 保健体育課         | 課長 山本 圭司   |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 協議事項
- (1) 令和 5 年度当初予算要求について
  - (2) 令和 6 年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験について
- 6 報告事項
- (1) 令和 4 年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果について

## 7 議事の概要

### 開会

#### 非公開案件の採決

##### (教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、協議事項（1）は、今度、議会との調整を要するものであることから、協議事項（2）は教育行政の公平性を確保することから、教育委員会会議規則第12条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

##### (委員全員)

(特になし)

##### (教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。

協議事項（1）（2）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

##### (委員全員)

挙 手

##### (教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

#### 報告事項（2）令和4年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果について

- ・保健体育課長から資料により一括説明

##### (委員)

今後の取組として体力向上担当者を明確に校務分掌に位置づけるとあるが学校や教員の負担が大きくなることが心配である。

##### (保健体育課長)

これまで体育主任が担っていた体力向上の意識づけを担ってもらいたい。校務分掌に位置づけることで新たな業務が発生することは基本的にはないが、学校全体で体力向上の意識をもってもらいたい。

##### (委員)

体力をつける前に今の子どもたちは生活習慣の基本的なことができていない。生活習慣を整えることが重要である。スマホの普及や、公園の使用禁止、塾へ通うなど、昨今は遊ぶ習慣がなくなっている。

**(保健体育課長)**

国も体力低下の要因を三点挙げているが、コロナが要因となり、運動をしなくなり、肥満になるなど悪循環になっている。これを断ち切り、好循環に変えるためにも校内に体力向上の分掌を設定して、研修等を通じて各校にアプローチして、呼び掛けてまいりたい。

**(委員)**

運動習慣がない子が高齢になった際に、一人で生活するのが難しい状況にならないようにする必要がある。

**(委員)**

運動にも部活動や休憩時間、体育の授業等あるが、どんな種類の運動時間が減少したのか。

**(保健体育課長)**

資料3ページに体育の授業を除いた1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒数の割合のデータや、調査では1週間420分以上運動している子どものデータもあるが、個別の運動状況は把握していない。しかしながら1週間420分以上運動している子どものデータは令和3年度までは減少傾向であったが、令和4年度では増加してきている。

**(委員)**

4ページのデータをみると運動が好きだが、体育は嫌いと捉えることもできる。

**(保健体育課長)**

すべての子を運動が好き、体育も好きというのは難しい。県教委としていかに体育の授業が楽しいと思わせることができるかが重要と考えており、令和4年度では楽しい、やや楽しいが増えている。できなかったことができるようになる、成功体験や達成感を感じる、実感ができるような取組をしてまいりたい。

**(委員)**

運動習慣についてマスクが影響していると意見があったが、子どもたちへアンケート等は行ったのか。

**(保健体育課長)**

マスクの脱着が調査にどう影響したのかは不明だが、基本的には運動をする際にはマスクを外すように指導している。

**(委員)**

握力、長座体前屈が例年小学校では悪く、中学校になると全国平均を上回るが何か取組をしているのか。

**(保健体育課長)**

例年まったく同様の結果が出ている。県教委としても要因を研究しているが不明である。岡山県では中学校で部活動に加入する割合が高くなるため、数値がよ

くなるのではないかと考える。逆に上体起こしや 20m シャトルランが平均を下回るのはメンタルの面が影響すると思われる。

**(教育長)**

全国的には福井県がトップであるが学力もトップクラスであり、また、大分県は学力、体力ともに上昇県であり、本県からも大分県に視察等行っている。大分県では特別な取組は行っていないが、各校で何か一つ目標を決めて体力向上に取り組んでいる。

**(委員)**

スクリーンタイムをしながらストレッチを行ったりできるようなアプリや取組も研究してはどうか。

**(保健体育課長)**

動機付けを含めて、研究してまいりたい。

**(委員)**

校内体制整備以外にも芝生や、雨に濡れない練習場、機器の整備などハード面の強化も必要ではないか。

**(保健体育課長)**

これまでモデル事業も行っているが、ボールが近くにあるだけで遊びなくなったり、廊下にボルダリングのようなものを設置したりするなどの環境整備により動機付けも図ることができる。予算も踏まえながら研究してまいりたい。

**(委員)**

休み時間にどれだけ遊びを促せるかも重要である。体力向上を考えるゲームもよいと思われる。

**(委員)**

多動症の子にはバランスボールに座らせたり、机の下にデスクサイクルを設置したりすることで、集中力が向上したとの研究がある。

**(教育長)**

遊びの中で運動する習慣ができるように検討してまいりたい。

**(委員全員)**

了 承

以下、非公開のため省略。

閉会